割合は年々上昇してきた。 どで減少が続き、再エネの

(大規模水力を除く)は前

9・4%となり、2年連続

有良企画調整部長が答え き市)の代表質問に五月女 自民党の鈴木智議員(いわ

内で消費される電力の10 水力を含めた発電能力は県 76が写増)だった。大規模 増)、風力は315がな(同 スは493が写(同15が写

24年度の再エネ導入量

できた。一方、エネルギー

太陽光発電の普及が進ん

増えた。このほかバイオマ

考えで、年度内にモデル的

けた取り組みも加速させる ト太陽電池」の実用化に向

な設置の拡大に向けた調査

る次世代型「ペロブスカイ

さまざまな場所に設置でき

薄くて曲げることができ、 の整備を進める方針。また、 武隈地域での風力発電施設

需要は省エネ技術の開発な

を開始する。

19日の9月定例県議会で

## 年度比574がは(14・5 再生可能エネルギー導入実績(原油換算) Ŧkl 10000 ※ビジョン策定時における推計値 8000 再工ネ導入目標 6000 59.7 4000 2000 2<sup>\*</sup>4 30 **4**0 2011年度

かかっている。震災後に進 入を先導してきたメガソー で100%を上回った。 では「再エネ推進ビジョン」 ガソーラーに依存した現状 ラーの整備は転換期に差し ネルギー課)としており、メ ネ導入は安全や環境に配慮 しているためだ。県は「再エ る上、環境への影響が問題 んだ開発で適地が減ってい して進めることが前提」(エ になる事例が県内外で増加 一方でこれまで再エネ導

事故以降、メガソーラーや の通り。「再生可能エネルギ と、大規模水力を除いた種 風力発電施設の整備、住宅 類別の発電能力は【グラフ】 (は東京電力福島第1原発 要の100%を再エネで生み出すとの目標達成に向 **先駆けの地」を目指す本** 県内の再エネ導入実績 用拡大なども積極的に進める考えだ。 どの課題が顕在化しており、40年度にエネルギー需 63が写)の約12倍に達し り、震災直後の11年度(3 た。民間事業者による郡山 676が写で約8割を占め た。種類別では太陽光が3 で、前年度から484が写 市のメガソーラー整備など

司車からひかる こした仕事山」 アオレめアノ ださ!

風力発電の整備や次世代型太陽電池の利 %) 増の4535がなとな 通せない。 導入100%」の実現は見 このため県は本年度、

新した。大規模太陽光発電施設(メガソーラー)を た。ただ、メガソーラーを巡っては環境への影響な 中心に再エネ導入が進み、前年度を4・8|||江回っ はエネルギー需要の59・7%に達し、過去最高を更 2024年度の県内の再生可能エネルギー導入量 再エネの種類別導入量 に掲げる「40年度に再エネ 地熱0.7-風力 -小規模水力 0.5 6.9

名前

バイオマス ※24年度

24年度、過去最高

▲ 9月20日 福島民友新聞掲載

2021年度の田井司能エフェギ―道スに関し

2024 年度の再生可能エネルヤー等人に関して、記事から方がることを扱き出してまとめてください。
メガソーラーの整備に関してどんな問題があり、県はどのような方針で「再エネ」を進めていこうとしていますか。
ᆘᄷᄱᅋᄱᆁᄷᆛᆝᄼᄙᄖᆂᆋᄼᅙᅁᄞᅝᆇᄺᅩᆝᄼᇬᆠᆉᅝᅠᇹᅙᅙᆂᄼᅩᄣᅩᄼᆛᄔᅝᅙᆝᅩᄯᇹᆝᄼᄬᅩᆉᆝᅩᄼ
地球温暖化対策として脱炭素社会の実現が求められていますが、この記事から皆さんはどのようなことを考えましたか。
<del> </del>